

シンポジウム

# いま科学者の役割を考える 科学コミュニケーションのあり方

日時

2017年3月16日(木)

入場無料

シンポジウム15:00~18:00(定員300名)

意見交換会18:10~[2時間程度](定員60名)

場所

コクヨホール

〒108-0075 東京都港区港南1丁目8-35

参加  
申込

事前申込制 <http://www.hakushu-arts.co.jp/csc/>

科学技術が社会の隅々にまで浸透し、  
私たちの暮らしと絡み合いながら不可分な私たちで社会を支え、ときには脅威となっている現代。  
科学者はどんな声に耳を傾け、語りかけ、社会での存在意義を見出していくのか。  
私たちの子孫が豊かな未来を生きていくための、新しい科学者像とは。



吉川 弘之  
JST特別顧問  
東京大学元総長

科学を伝えるための  
「人間そのものが作動する」  
科学コミュニケーションの構造とは？



井野瀬 久美恵  
日本学術会議副会長  
甲南大学文学部教授

社会は、いつから科学者の知を  
求めなくなったのだろう。  
深い知を伝え合う意味とは？



喜連川 優  
国立情報学研究所  
所長

経済優先で動く情報空間を、  
社会の問題解決のための  
対話空間へと変えるには？



小林 傳司  
大阪大学理事・  
副学長

分野やセクターを超えて  
行き来できる人材に  
求められることとは？

基礎研究が社会で使われるまでの  
険しい道のりを、  
社会と共に進んでいくためには？

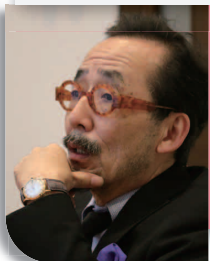
「科学的」探求が見落としてきた  
「主観的」に考えることの  
意味とは？

学生の魂に、学ぶ動機の火をつけたい。  
学びのための社会的動機を  
取り戻すためには？

AIにはない  
「人間だけがもつ力」を引き出す  
コミュニケーションとは？



高橋 政代  
理化学研究所CDB  
網膜再生医療  
研究開発プロジェクト  
プロジェクトリーダー



西野 嘉章  
東京大学  
総合研究博物館  
館長・教授



三島 良直  
東京工業大学  
学長



山極 壽一  
京都大学総長



東条 統紀  
株式会社KDDI総合  
研究所  
取締役執行役員  
副所長



行木 陽子  
日本IBM株式会社  
技術理事

産業界、行政を交え、  
科学者・科学コミュニケーションの  
今後は再考します。



Center for Science Communication  
科学コミュニケーションセンター



国立研究開発法人  
科学技術振興機構  
Japan Science and Technology Agency

# プログラム (予定)

15:00~15:05

## 趣旨説明

渡辺 美代子  
JST CSC センター長・副理事

## 基調講演

吉川 弘之  
JST特別顧問、東京大学元総長

15:05~15:30

15:30~17:50

## パネルディスカッション

第一部「伝えたいことは何ですか?伝わっていますか?  
伝わると社会はどう変わりますか?」  
第二部「知のループを社会に広げるために」

## 総括

「共創のかたち」  
濱口 道成  
JST理事長

17:50~18:00

## 登壇予定者

吉川 弘之 (JST特別顧問、東京大学元総長)

井野瀬 久美恵 (日本学会会議副会長、甲南大学文学部教授)

喜連川 優 (国立情報学研究所所長)

小林 傳司 (大阪大学理事・副学長)

高橋 政代 (理化学研究所CDB 網膜再生医療  
研究開発プロジェクト プロジェクトリーダー)

東条 続紀 ((株)KDDI総合研究所 取締役執行役員副所長)

伊藤 洋一 (文部科学省 科学技術・学術政策局 局長)

西野 嘉章 (東京大学総合研究博物館館長・教授)

三島 良直 (東京工業大学学長)

山極 壽一 (京都大学総長)

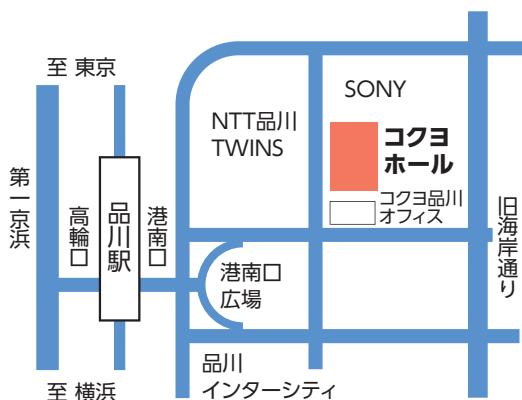
渡辺 美代子 (JST CSC センター長・副理事)

行木 陽子 (日本IBM(株) 技術理事)

濱口 道成 (JST理事長)

本シンポジウムの土台となる対談は、一般書籍として  
近日販売予定(シンポジウムではそのエッセンスを御紹介)

## 会場マップ



JR品川駅港南口(東口) 徒歩5分

Web

「吉川弘之対談シリーズ」も  
併せてご覧ください

[http://www.jst.go.jp/csc/dialogue/  
index.html#dialogue07](http://www.jst.go.jp/csc/dialogue/index.html#dialogue07)



主催

国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)  
科学コミュニケーションセンター (CSC)

お問い合わせ



Center for  
Science  
Communication

国立研究開発法人科学技術振興機構 科学コミュニケーションセンター

CSC シンポジウム事務局 (株)博秀工芸内

Tel : 03-5818-5916 E-mail: [csc@hakushu-arts.co.jp](mailto:csc@hakushu-arts.co.jp)